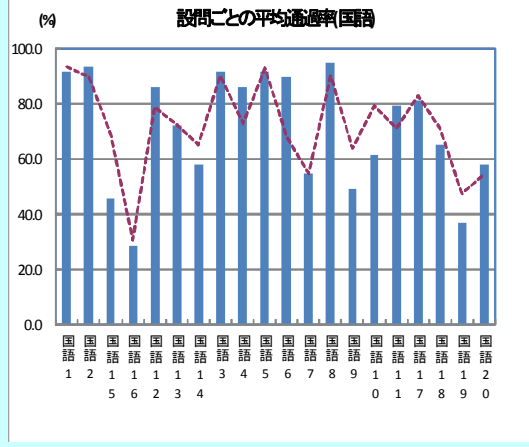
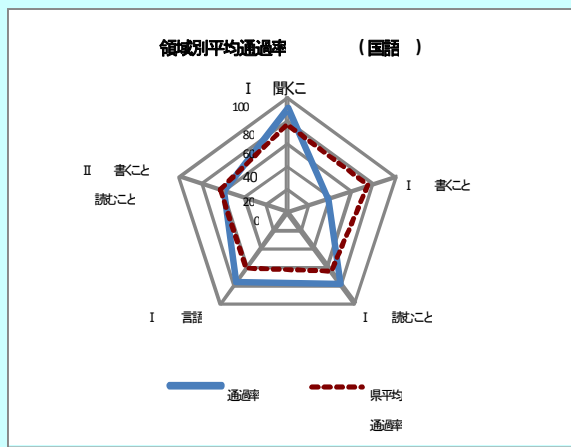
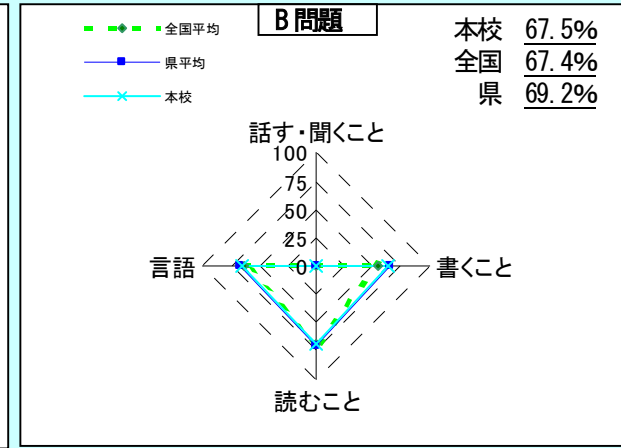
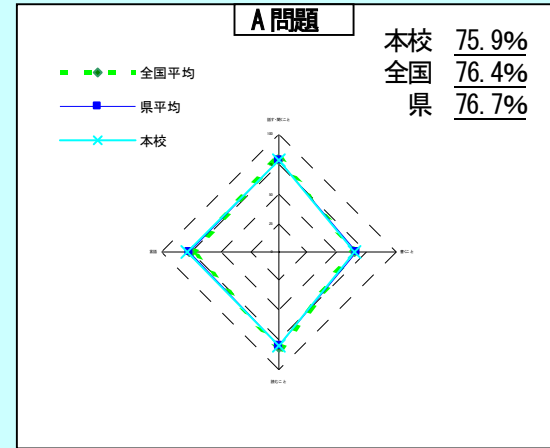


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎ 「叙述の仕方の確認」の通過率が他の項目と比較しても低くなっている。設問で指示された条件を理解して表現することが難しかった。(通過率28.1%)
- ◇ 「文脈に即して漢字を正しく書く」「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う」などの言語事項が県、国と比較して全般的に低い。特になじみの少ない語句(「にわか」に「抱負」など)の達成率が低い。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

- ◎ 自分の考えを、根拠を明確にして書くといった課題を各教材の学習の最後にまとめとして取り組ませる。その際に、一文に内容を詰め込んで文がねじないように、接続詞を正しく用いて一文を短めに書くよう指導する。また、「何段落構成にするか」「自分の主張を一文目を書く」のような条件を付けた文章を表現する機会を増やし、条件を把握して、それを満たす文章を作成するといった活動を行っていく。
- ◇ ことわざ、慣用句、故事成語や季節や生活に根ざした言葉に親しむ機会を読書や視聴覚教材等で増やす。手元に辞書や国語資料集を置き、語句や言語事項を常に調べることができるようにする。また、ことわざ、また、文法等への取組を一定期間集中的に行ったり漢字の練習を毎時間継続的に行ったりする等「言語事項」を系統的に指導する。

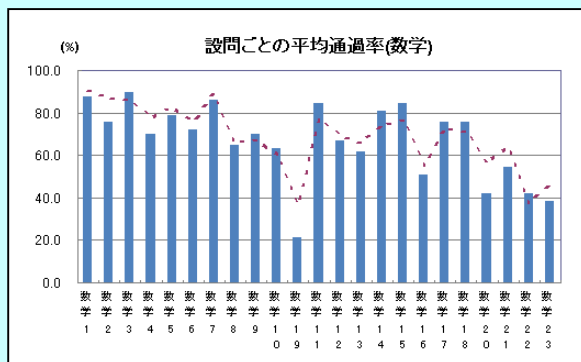
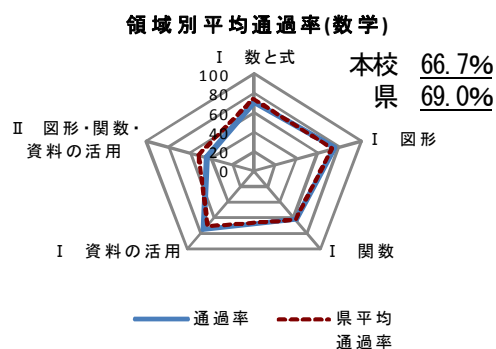
◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				1・2年生 後期中間テスト	2年生 H25「基礎・基本」	1年生 H25「基礎・基本」	1・2年生 学年末テスト
目標値				45.0% 50.0%	55.0%	50.0%	55.0% 60.0%
実施後数値							

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			3年生 中間テスト	2年生 H25「全国学力」			2年生 学年末テスト
目標値			70.0%	60.0%			70.0%
実施後数値							

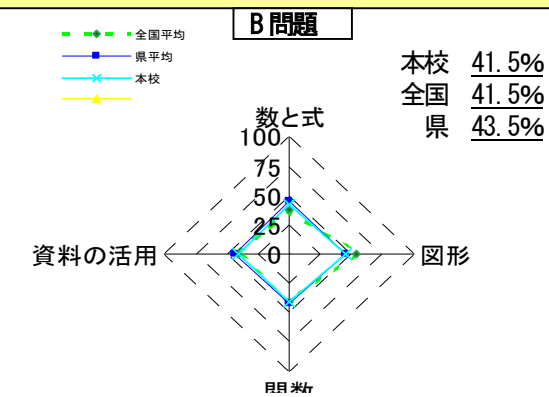
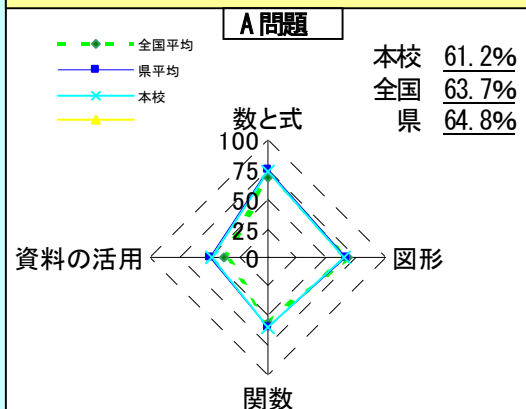
指導方法等の改善計画について〔数学〕

広島市立己斐上中学校

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎関係を文字式で表すことができていない。問題文を理解し、問題に合った解答を正しく表すことができていない生徒が多い。(通過率21.1%)

◇関数の意味が理解できていない。事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができていない。与えられた表やグラフを用いて、水温が80°Cになるまでにかかる時間を求める方法を説明することができていない生徒が多い。(ともに通過率30%未満)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

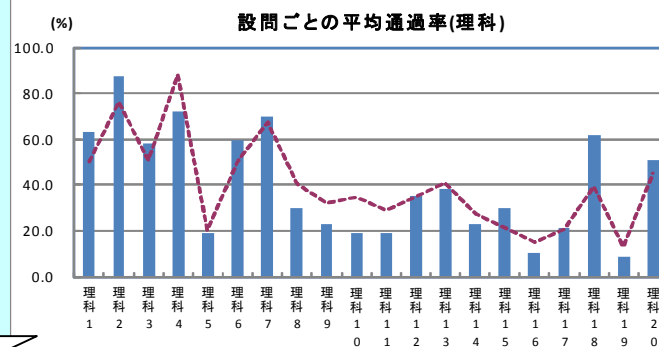
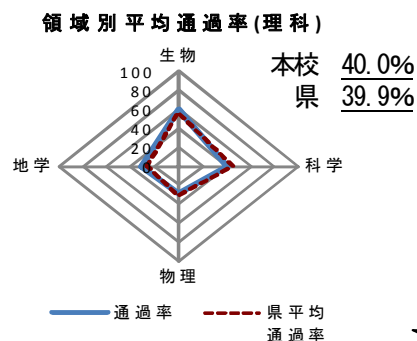
◎規則性のある問題では、図をかくことによって変化を見つけることができるようにする。そして、具体的な数字で考え、特徴を説明したあとに、文字を使って表すようにする。また、「×」を省くといった文字式の表し方を徹底させる。問題で問われていることは何か、ゴールをイメージさせ、そのために必要なこと、すでに分かっていることを整理し、筋道を立てて考えることを意識させるように授業を行う。

◇関数では式がつくれる、グラフがかけるといった技能面だけではなく、意味理解ができるように演習を重ね、説明できるようにさせる。また、式、表、グラフが一体となって考えることができるように、式から表、式からグラフなどを反復練習する。そして、表やグラフから何が読み取れるのか、問題を重ねることで理解できるようにさせる。他に、全体を通して、生徒が説明する機会を増やす。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				1・2年生 後期中間テスト	2年生 H25「基礎・基本」	1年生 H25「基礎・基本」	1・2年生 後期期末テスト
目標値				58.0%	67.0%	50.0%	58.0%
実施後数値							

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			3年生 中間テスト	2年生 H25「全国学力」			2年生 後期期末テスト
目標値			58.0%	55.0%			58.0%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎ ① 「密度の意味」の通過率が60%近くあるにも関わらず、「密度の求め方」の通過率が県と比較して著しく開きがある。(通過率29.8%)
- ◎ ② 「力の表し方」の通過率が他の項目と比較しても低い。(通過率19.3%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

- ◎ ① 密度が物質固有の性質であることは理解できており、メスシリンダーの読み方などの技能も70.2%と高い。ただ、その読み取った数値を計算して密度を求めるような分数の計算に苦手意識があり、密度を求める練習問題にも時間がとれていなかったため、授業の中で、プリントや小テストなどを使った計算問題を取り入れていくようにする。
- ◎ ② 力は大きさと向きによって表されることは知っているのだが、力のはたらく点はどこにあるのかを見つけるのができないようなので、力の性質を理解させるとともに、力の図示の問題を授業の中で多めに取り入れていくようにする。

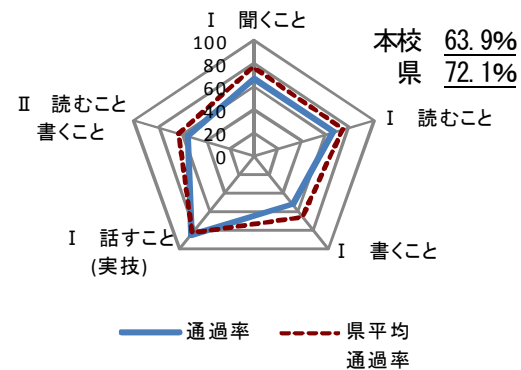
◎「基礎・基本」①	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法					2年生 H25「基礎・基本」	1年生 H25「基礎・基本」	
目標値					45.0%	40.0%	
実施後数値							

◎「基礎・基本」②	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法					2年生 H25「基礎・基本」	1年生 H25「基礎・基本」	
目標値					40.0%	35.0%	
実施後数値							

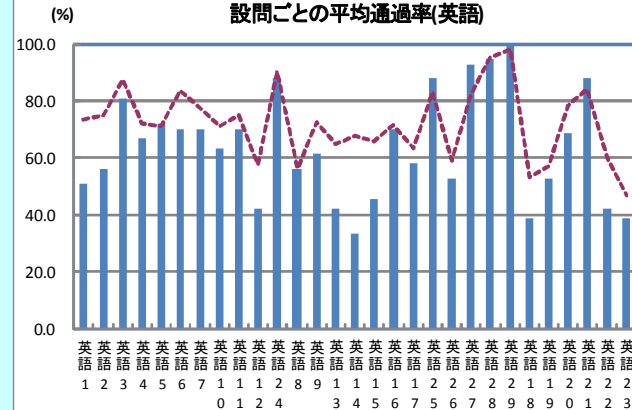
指導方法等の改善計画について〔英語〕

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率

領域別平均通過率(英語)



設問ごとの平均通過率(英語)



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎① 会話の場面に応じて適切に英文を書くことができない。(通過率33.3%)
- ◎② 英語の文章を読んで必要な情報を取り出して、その情報をもとに自分の考えを英語で書くことができない。(通過率38.6%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

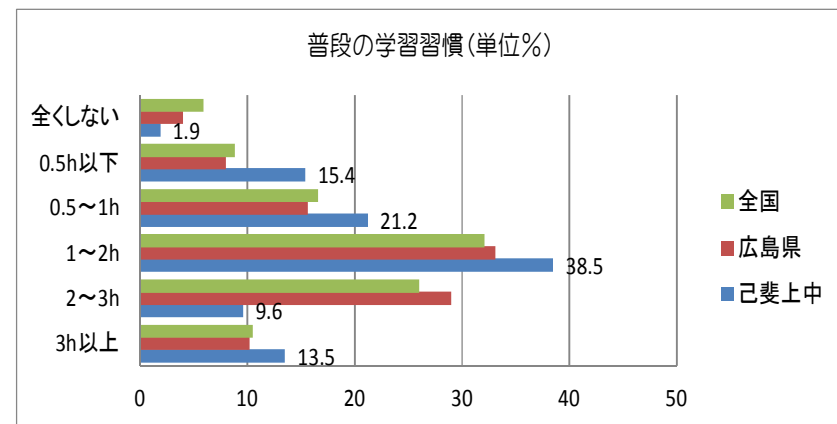
- ◎① グループでのタスクワークの活動を取り入れて、いろいろな表現を知ることによって自分の表現力につなげていくように指導する。時制を意識して英文を書かせ、平叙文を疑問文や否定文に変換する指導を行う。ワークシートを活用して、何度も書くような反復活動を通じて書く力を支援する。
- ◎② 基本的な語彙力が定着できるよう、定期的に単語テストを行う。英文を読むことに慣れさせるため、授業でまとまった文を読む時間をとるようにする。

◎「基礎・基本」①	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				1・2年生 学年末テスト	2年生 H25「基礎・基本」	1年生 H25「基礎・基本」	1・2年生 学年末テスト
目標値				60.0%	55.0%	50.0%	65.0%
実施後数値							

◎「基礎・基本」②	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				2年生 H25「全国学力」			2年生 学年末テスト
目標値				60.0%			65.0%
実施後数値							

質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査）

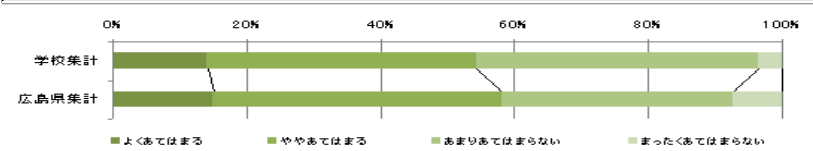
(1) 生活・学習



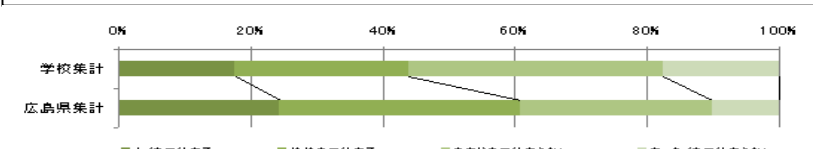
	生徒の回答についての課題(現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
基礎・基本	普段(月～金曜日)、1日当たりの勉強時間が、1時間未満が71%である。	目的をしっかりとって学習に取り組むことの大切さと、生活のリズムの中に学習の時間を作ることを指導する。また、反復練習・ドリルなど、家庭学習に適した課題をだす。	2	1時間未満が50%以下	生徒アンケート調査	1月		
全国	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりの勉強時間が、1時間未満が38%である。	自分の学習の仕方を振り返り、学校での勉強や家庭学習の進め方の見直しをおこなう。また、受験勉強の指導ともあわせ、家庭学習に適した課題を提供する。	3	1時間未満が30%以下	生徒アンケート調査	12月		

(2) 教科

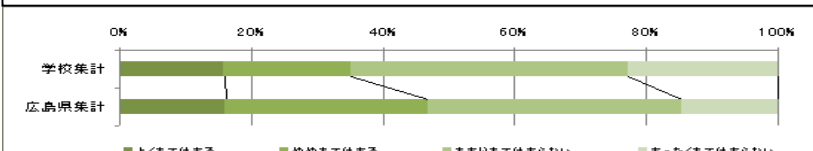
伝えたいことの中心がうまく伝わるように話の組み立てを考えて話したり、話の中心を考えながら聞いたりすることができる。



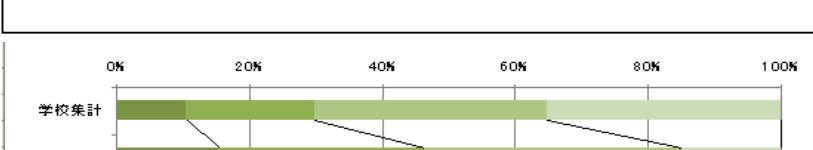
数学の授業の中で、学んだことの振り返りをしている。



理科の授業で学んだことを、ふだんの生活で使う。



聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見を話したり書いたりする英語の授業では、自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています。



	生徒の回答についての課題(現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	基礎・基本 伝えたいことの中心がうまく伝わるように話の組み立てを考えて話したり、話の中心を考えながら聞いたりすることができる生徒が55%未満である。	伝えたい内容の中心となる、自分の意見・主張を柱に、それを分かってもらうために必要な根拠や例を整理して述べるように指導する。それらを整理できるワークシートを準備する。	2	あてはまるが60%以上	生徒アンケート調査	1月		
全国	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している生徒が42%と、全国・県と比較して割合が低い。	伝えたい内容の中心となる、自分の意見・主張を柱に、それを分かってもらうために必要な根拠や例を整理して述べるように指導する。それらを整理できるワークシートを準備する。	3	あてはまるが50%以上	生徒アンケート調査	1月		
数学	基礎・基本 数学の授業の中で、学んだことの振り返りをしている生徒が45%未満である。	授業のはじめにめあてを示し、そのめあてが達成されたのかどうか、授業の最後に確認問題をさせる。	2	よくあてはまるとややあてはまるが50%以上	生徒アンケート調査	1月		
全国	数学の問題の解き方が分からないときに、諦めずにいろいろな方法を考える生徒が30%未満である。	問題の解き方、かき方をパターン化し、流れを覚え、繰り返し演習させる。また、ゴールをイメージさせ、そのための筋道を立て、根拠や理由を明らかにしながら進めていく。	3	よくあてはまるとややあてはまるが80%以上	生徒アンケート調査	1月		
理科	基礎・基本 理科の授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考える生徒が35%である。	理科で学んだことが、自分たちの生活の中で使われている例を授業の中で紹介する時間をとるようにし、できれば、実物を見せることで、考える場面をつくっていく。	2	よくあてはまるとややあてはまるが50%以上	生徒アンケート調査	1月		
英語	基礎・基本 聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見を話したり書いたりすることができる生徒が30%未満である。	聞いたり読んだりした内容を理解するだけでなく、それに対する自分なりの感想や意見などをもつための時間を取るようになる。また、リスニングで大まかな文章の流れと大切な部分を聞き取る反復練習を行う。	2	よくあてはまるとややあてはまるが50%以上	生徒アンケート調査	1月		